

企画展

神戸女子大学古典芸能研究センター研究資料集3

『新作浄るりめをと山賊 一食満南北遺稿集一』刊行記念展示

け ま なん ぼく 食満南北が 描いた歌舞伎

～古典芸能研究センター所蔵資料から～

日時：2020年4月6日（月）～5月28日（木）

10：00～17：00 土日祝日休室

場所：神戸女子大学古典芸能研究センター展示室



2020年3月、古典芸能研究センターから研究資料集の3冊目が刊行されました。今回の資料集は、志水文庫所蔵の食満南北未発表原稿『新作浄るりめをと山賊』、センター所蔵の食満南北画賛軸『歌舞伎十八番図絵』、食満南北脚色の浄瑠璃『恩讐の彼方に』の床本（豊竹咲太夫氏所蔵）を取り合わせた本となっています。これに合わせてセンターでは『歌舞伎十八番図絵』十八軸を中心とした展示を開催します。『歌舞伎十八番図絵』は、食満南北が歌舞伎十八番の一演目を一軸に描き、自作の川柳を付したものです。先行する浮世絵から構図を利用したもの、食満南北独自のものなどその描き方も様々です。少し剽軽な姿のものもあり、食満南北の世界、歌舞伎の世界を楽しむことができます。

左から「不破」「不動」「鎌鼬」「暫」
（『歌舞伎十八番図絵』より）